

# 令和4年度 社会福祉法人こうち福社会事業計画（案）

障害福祉サービス事業 : ライフ・ステージ あおぞらセンター（定員 30 名・実員 29 名）

ライフ・ステージ 蒼空舎（定員 40 名・実員 43 名）

ライフ・ステージ 第2あおぞら（定員 20 名・実員 21 名）

ライフ・タウン あおぞらホーム（定員 99 名・実員 92 名）

ライフ・タウン 蒼空舎（定員 9 名・実員 7 名）

相談支援事業 : ライフ・サポート あおぞら

## いきいき工房 クッション

ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

### 1、人員について

メンバー 11 名：支援員 2 名（いきいき工房内兼任）

袋とじ＝職員対応、袋縫い＝職員対応、シーラー掛け＝2 名、

計量＝1 名、袋詰め＝2 名、ほぐし＝5 名、オイルパッド箱詰め＝1 名

- ・作業レベルへの継続的な支援を行っていくと共に、生活支援にも目を向けて取り組んでいく。
- ・大勢のメンバーと作業する事が困難となったメンバーに応じて個室を利用し、落ち着いた空間を作る。様子を見ていき、メンバーの状態に配慮した対応を行っていく。
- ・出来上がった製品を確認するために、支援員が袋とじを行う。
- ・ほぐし作業は吸収材となる紙の裁ち落した固まりを 1 枚 1 枚ほぐしていく作業である。初めて作業を体験されるメンバーも取り掛かりやすく、作業の導入時のストレス軽減に有効である。
- ・オイルパッド箱詰め作業については納品数増加予定に伴い、継続的な作業として取り組んでいく。

### 2、メンバー活動

- ・コロナウィルス感染対策として、毎日の検温、手洗い、うがい、消毒を習慣にし、日々の体調管理を行い健康な生活を送れるよう、見守り、声掛けを行う。マスク着用ができるメンバーについては極力マスク着用の声掛けをする。
- ・栄養バランスの良い昼食を提供し、毎日作業に取り組める体づくりを目指す。
- ・歯の健康を保てるよう、歯磨きの際、見守りを行い必要に応じて仕上げ磨きを行っていく。
- ・社会人としての身だしなみを心掛けるよう、髭剃りや散髪、季節や場面にあった服装について声掛けを行う。

- ・こまめに換気を行い、マスク、白衣、作業帽子の着用を促し、ホコリ対策に力を入れていく。
- ・毎朝の30分の散歩と、月に2～3回の体操教室を取り入れたり余暇活動を充実させ、作業時間と休憩時間のメリハリをつけながら、より良い作業環境を整えていく。
- ・各自の作業出来高が日により大幅に違うこともある為、メンバー同士の連携がスムーズに行く様に支援を行い、作業効率を上げていく。

### 3、受託製造

- ・ 納入先…(株)環境機器
- ・ 製造 —— すいとるS、シート ——  
 不織布をミシン縫いし、袋返しをする。  
 吸収材Aの固まりをほぐす。  
 吸収材AとBの材料を計量し、混ぜて袋詰めする。  
 ミシンで袋とじをして箱詰めをする。

※ 納品 令和3年度分

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7箱 (7+0)	7箱 (7+0)	13箱 (13+0)	11箱 (11+0)	10箱 (10+0)	27箱 (27+0)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12箱 (8+4)	15箱 (15+0)	24箱 (24+0)	25箱 (23+2)	40箱 (40+0)	0箱 (0+0)

—— すいとるオイル ——

- 小箱を組み立てる。
- オイル材料を数える。(2L=14個、5L=33個)
- 2Lは3個ずつ4列並べて中央に2個、
- 5Lは5個ずつ6列並べて中央に3個詰める。
- 箱詰めする。

※ 納品 令和3年度分

4月	5月	6月	7月	8月	9月
23箱	32箱	19箱	27箱	37箱	11箱
10月	11月	12月	1月	2月	3月
34箱	38箱	30箱	33箱	0箱	0箱

—— すいとるL、PEシート ——

- ビニールのシーラー掛けをする。
- 折り目をつけ丁寧に折っていく
- 確認をして箱詰めする。

(すいとるL) ※ 納品 令和3年度分

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8箱	0箱	2箱	18箱	0箱	0箱
10月	11月	12月	1月	2月	3月

10箱	9箱	1箱	10箱	0箱	0箱
-----	----	----	-----	----	----

(PEシート)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚

#### 4、留意

資材仕入れに関しては、(株)環境機器から入れてもらっている。生産に手間がかかる資材もあるので、早めの発注が必要である。特にクッション資材Aのほぐしは、実習生の作業の取り掛かりにも有効なので、抜かりない発注を心掛ける。

吸収材の取り扱いの安全性データシートを基に作業を進めていく。

## いきいき工房 箱折り

ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

目標—— 新規取引先開拓により事業の継続を図る

#### 1、人員について

メンバー2名：支援員2名（いきいき工房内兼任）

- ・クッションメンバーと協力して箱折り作業を進めることによって、皆で協力して作業する充実感を持つように取り組んでいく。
- ・何時でも安定した出来高を確保出来るよう技術支援を行うと共に、不良品（しわや破れ）の数を減らす。全員の目で検品作業をし、確かな商品を納入出来るようにしていく。

#### 2、メンバー活動

- ・クッション作業同様、コロナウィルス感染防止のため、検温、手洗い、うがい、マスク着用、作業室の換気を行っていく。
- ・“食品を入れるための箱”を作っているとの自覚を持つことで、手洗い・うがいの励行、帽子の着用の習慣化等、『清潔であること』を意識すると同時に、大切に取り扱う基本的姿勢を身につけていく。
- ・納品数にあわせて一日の作業目標数を示していくことで、全員で協力して目標達成が出来るよう作業意欲を高めていく。
- ・不良品（しわや破れ）が出た時には、支援員に報告をするように声を掛けていき、チームワークの良さをより一層高めていきたい。

#### 3、留意

コロナウィルスが流行し、取引していた納入先が廃業したため、新しく事業開拓を行なっていく。

# いきいき工房 菓子袋詰め、薬味入れ、乾燥こんにゃく

ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

## —— 菓子袋詰め ——

### 1、人員について

メンバー7名（いきいき工房6名、あみおり工房1名兼務）

支援員2名（いきいき工房、あみおり工房兼務）

- ・センター2階全体で協力し作業に取り組んでいく。
- ・作業の効率を目指し納入先と工程を確認しながら取り組んでいく。
- ・作業ができそうなメンバーを育成していく。

### 2、メンバー活動

- ・食品を取り扱っているため別室で作業をしていく。
- ・ネット帽子、白衣を着用し、手洗いやうがい、消毒は元より室内に入る前の埃取り（ローラー）、作業専用のスリッパに履き替えて行う。また、衛生面全般として爪切りや入浴の声掛けも行っていく。

### 3、内職作業

#### ①ミレービスケット×芋ケンピ袋詰め

ミレービスケット50gと芋ケンピ50gを計量し袋詰めを行う。その後、印字付きシーラーで賞味期限を印字し袋とじを行い、金属探知機にかけ20袋ずつ1箱へ梱包していく。

#### ②土佐の生姜飴袋詰め

個包装された生姜飴を12粒ずつ袋に入れシーラーで袋を閉じる。その後、賞味期限ラベルを貼り金属探知機にかけ20袋ずつ1箱へ梱包していく。

※現在、パッケージ変更段階であり、手順の変更も考えられる。

#### ③納品…高知県特産品販売から製造依頼と納品期日が記載されたFAXが届くので納品日を守っていく。

#### ④留意…製造依頼が納品予定日の2週間前にはFAXが届くようになっているが、急な発注依頼もあるので、全体の作業内容を確認し納品日に間に合うように作業日の設定をしていく。開封したお菓子は湿気や異物混入防止のため、その日で仕上げるようにしていく。最終計量、シーラー、賞味期限印字、金属探知機、梱包作業は支援員が最終の点検をしながら作業を進めていく。

・納入先…高知特産品販売

・納品

令和3年度分参考

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ミレービスケット ×芋ケンピ	2395袋	3596袋	1201袋	1197袋	3595袋	3596袋	2399袋
土佐の 生姜飴	0袋	0袋	0袋	889袋	0袋	0袋	901袋
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
ミレービスケット ×芋ケンピ	3600袋	3610袋	1201袋	2400袋	0	28,790袋	
土佐の 生姜飴	1785袋	0袋	891袋	0袋	0	4,466袋	

## 薬味入れ

### 1、人員について

メンバー10名（いきいき工房内兼務）・支援員2名（兼務）

薬味は〈しょうが・にんにく・わさび〉3種類の組み合わせと〈しょうが・にんにく〉2種類の組み合わせの場合がある。各注文数のみ袋詰め作業を行い、作業をスムーズに行っていく。

### 2、メンバー活動

- ・食品を扱う自覚を持ち、衛生面には特に配慮する。
- ・手洗い、うがいの励行、帽子・マスクの着用の習慣化、また作業開始前には必ず作業台を拭き、薬味入れに必要な道具を準備する。

### 3、内職作業

①納入先…パステムマツザワ

②製造…薬味を小袋に入れる作業。「にんにく3：しょうが3」または、「にんにく2：しょうが2：わさび2」で入れる2種類の作業。

③納品…お盆及び年末のお中元・お歳暮商戦に向けて薬味を納める。

※納品

令和3年度分参考

4月	5月	6月	7月	8月	9月
2768袋	7055袋	6082袋	6058袋	2021袋	0袋
10月	11月	12月	1月	2月	3月
5016袋	6000袋	8000袋	0袋	0袋	0袋

④留意…数日間の集中的な作業になるが故に、その間のクッションや箱折りの作業がストップしてしまう。薬味については、数え間違いや入れ間違いを起こしやすい為、正確に行うように声掛けをし、再度支援員が点検を行う。保管には細心の注意を払う。

## —— 乾燥糸こんにゃく ——

### 1、人員について

メンバー1名（クッション兼務）・支援員1名（兼務）

### 2、メンバー活動

- ・食品を扱う自覚を持ち、衛生面には特に配慮する。
- ・手洗い、うがいの励行、帽子・マスクの着用の習慣化、また作業開始前には必ず作業台を拭き、乾燥糸こんにゃくの道具を準備する。

### 3、内職作業

①納入先…生協等      \*仕入れはトレテス熊本

②製造…袋の表側にパッケージラベル、裏側にはレシピと栄養成分表示ラベルを張る。直径約 5 cmの大きさに乾燥させた糸こんにゃくを6個ずつ袋詰めし、シーラーで袋とじをする。

③納品

- ・生協…例年春先に向けての納品は安定しているが、それ以外の月にも依頼がある場合がある。いづれにしても2～3ヶ月ぐらい前から納品依頼のFAXが入るため、計画的に製造を行う。  
※令和3年度は6月に107袋の納品を行なっている。

- ・第2あおぞら…店舗等の販売で在庫が少なくなれば注文がある。

※令和3年度注文なし

- ・よさこい工房…給食での使用分、日曜市やバザー等の販売分を取りまとめて注文がある。
- ・個別販売…不定期にある。

④留意…生協においては納品時期がおおよそ見込めていたが、「声に答えて」という企画商品である。個別購入は不定期のものなので、それにすぐ対応できるだけのセット数と糸こんにゃくの在庫は最低限確保しておく。コープしこくポータルサイトにて納品に至るまでの商品確認や発注書確認を行うこととなっている。定期的にサイトを確認し、確認漏れのないよう留意する。販売数が年々減少傾向にあり、よさこい工房や第2あおぞらでの販売、給食の利用で在庫の回転に努めている。

# あおぞらカントリー 畑ばたけ

継続B ライフ・ステージ 蒼空舎

生活介護 〃 あおぞらセンター

支援員：宮内 知志、川村 哲也、伊東 昌彦、谷脇 豊実

## 1、人員について

メンバー	あおぞら	8人	蒼空舎	10人	計	18人
支援員	あおぞら	2人	蒼空舎	3人	計	5人

## 新規メンバーについて

特別支援学校の卒業生1名をあおぞら（生活介護）に受け入れる。

また令和4年3月より50代男性（就労B）を受け入れる。

**活動内容：**ニラ調整作業・きくらげ栽培・原木椎茸栽培・花卉栽培・露地栽培・果樹栽培

## 支援員のスキルアップ

- ・メンバーに対し安定、且つ的確な支援を行えるよう一人一人の特性を理解し、日々の情報を共有し支援していく。
- ・メンバーに対し、的確な生産活動の場を提供できるよう支援員の間で話を持ち、少しでも生産性が上がるよう努め、工賃向上を目指す。
- ・特別支援学校の実習生を積極的に受け入れ、卒業後の進路になるように、受け入れ態勢を整えて、実りある実習期間となるように配慮していく。

## 2、利用者活動

メンバー1人1人が有意義な日中生活を送れるよう、次の事に気をつけて支援していく。

- ・個別に行う作業よりも、協力して行う作業が多いので、協調性を意識できるようにする。
- ・現在のコロナ禍の影響も加味し、出勤時、退所時、作業中の体調面を気に掛ける。また、畑での作業中、特に暑い時や寒い時は、十分に配慮する。
- ・道具などを使う場合は、いつも以上に周りに気を配るようにし、取扱いに十分気をつける。また、正しい使い方を教えて行く。
- ・作業が分からない時の質問や作業が終わってからの報告を徹底する。
- ・個々に自分の合った目標を持たせ、スキルアップを目指す。
- ・生産活動を通し、人前での礼儀、挨拶など、社会性を身につける。
- ・汚れる作業が多いので、作業後の手洗い、うがい、マスク着用等、衛生面を意識づけていく。

### 3、農業生産

#### ① 露地栽培

- ・職員2名（花卉栽培と兼務）
- ・かぼちゃ・サツマイモ・白菜・大根・人参・玉ねぎをメインに栽培をする。
- ・今年度、新たにトウモロコシを栽培予定。
- ・種苗に関しては前川種苗・カダヤシード等で購入する。
- ・種苗以外の資材は、ネットショップやホームセンターが比較的安価で購入できるので計画的に購入する
- ・販売に関しては、既存の販路（あおぞらセンター・第二あおぞら・日曜市・JA・直販市等）を活用し無駄がないよう売っていく。
- ・他の事業の進捗状況を考慮しつつ、現在借りている圃場の数を削減、検討していく。

#### ② 果樹栽培

主に加工用として栽培。伊野町八田地域に果樹栽培用の圃場を準備し、現時点で柿・梅・混植用の桃を植栽している。今後、気候風土等の条件を加味しながら柑橘系果樹の栽培を試験的に進めていく。

#### ③ 花卉栽培

職員2名（露地栽培と兼務）で活動を行っていく。年々気候変動の影響で生産が難しくなってきた。経験を元に栽培をするだけでなく、その時期の気候を読み取り播種時期や間隔を調節しながら栽培をしていくように心がけていくようにする。それぞれのメンバーの特性を考え、適切な作業を提供していき生産性の向上を目指していく。

#### ④ 原木椎茸栽培

- ・職員2名（きくらげ栽培と兼務）
- ・令和3年度、高知県地域林業総合支援事業を活用し原木を6000本購入した。今後は原木の管理を重点におき日々の状態を確認していく。原木移動の作業は、メンバーに作業内容の徹底と確認に努め事故、怪我のないように進めていく。栽培管理は例年同様の気温上昇により高温多湿状態が続く事が多くなり環境維持、継続が厳しく難しくなっている（特に雑菌管理）。必要であれば薬品散布等に対応していき作業間との報告、連絡、相談を抜きなく連携して技術向上を行い取り組んでいく。

#### ⑤ ニラ調整作業（野市青果委託）

仕上り30箱の目標に向けて、利用者7名職員3名で行っている。  
野市青果さん自体も調整作業を行っており、原体の入荷量が減少しているが、畑を増やす計画もあり、9月以降は入荷量も増える予定になっている。常に30箱以上取り組める様に全体のスキルアップを目指していく。

資材に関しては、委託業務なので必要なものは支給してもらえる。

※作業賃 1束10円 1箱50束500円



## ⑥ きくらげ栽培

- ・職員2名（原木椎茸栽培と兼務）
- ・令和3年度、障害者生産活動支援事業費補助金を活用し換気及び散水設備を導入する。本年度は昨年度の5倍、約500床を入れ栽培をしていき状況に応じて増やしていく計画で進めていく。昨年度は初めての栽培で職員のみ作業が多かったが、テスト栽培でのデータを活用しメンバーの作業を増やしていく。また販売においても新規開拓等、営業活動も積極的に行っていき販路拡大に努める。

## 4、留意

現在のコロナ禍の影響を十二分に考え、第一にメンバーに対して最大限、安全面の配慮を行っていく。作業に対しても出来るだけ滞ることのないよう職員のスキルアップ、より効率的に作業を行えるような環境を整備していくよう心掛ける。

## よさこい工房 食品加工

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター  
就労B // 蒼空舎

管理者：鎌倉 節子

令和3年度も新型コロナウイルスの影響で、受注数が減少した。コロナ禍に於いては、受注の落ち込みは避けることができないが、令和4年度は最低でも令和3年度の売上の維持と、既存商品の需要の掘り起こしを行う。

また、最低賃金を目指す利用者の就労の場をめざした取り組みを行う。

### 1 利用者について

- ① 現在就労しているメンバー1名の力量アップを図る。  
下処理を中心に、計量・瓶詰・シーラーかけ・ラベル貼り等、力量アップはできつつあるが、必要な報告ができるよう取り組む。
- ② 昨年度に体験実習を行った新規メンバー1名の増員。
- ③ 衛生管理・食品安全マネジメントシステムについての教育を定期的に行う。

### 2 製造について

- ① 令和3年度 IT 補助金により導入した「製造・在庫管理システム」の有効な活用を行い、業務の効率化を図る。
- ② 商品の在庫確保のため計画的な製造を行う。  
コロナ禍により、製造計画を立てにくい状態が続いている
- ③ 衛生管理を徹底し、引き続きコロナウイルス感染者ゼロ、クレームゼロを目指す。

### 3 営業活動について

- ① 十分な感染対策を行い、積極的にオンライン商談会に参加する。
- ② 販促物を充実させ「売れ筋商品」の売り上げアップを図る。
- ③ 既存商品の「レシピおよび規格変更」による商品価値の向上。
- ④ 「安心・安全」をアピールし、「こだわり商品」としての定番商品化を目指す。
- ⑤ 令和3年度 IT 補助金により導入した「製造・在庫管理システム」を有効活用する。
- ⑥ PB 商品に参入するための準備を行う。(規格、価格、販促物などの検討)
- ⑦ 顧客情報の収集と分析。

### 4 課題

- ① コロナ禍において、受注状況を見極めた製造計画。
- ② チャンスロス対策の検討と計画。  
最低賃金を目指す就労の場として機能させるために、安定した受注が見込まれる企業との取引。  
(PB 商品化の実現)
- ③ 高知県版 HACCP 新第3ステージの認証。
- ④ 食品安全マネジメントシステムの運用。

## あおぞらファクトリー 野菜工房

就労B ライフ・ステージ 蒼空舎

支援員：戒井 健太郎

### 1、人員について

メンバー：14名 支援員：3名

新卒等新規メンバーの利用予定はない。ISO 9001の力量一覧表をもとに、既存のメンバーの作業能力の向上ができるよう支援員が共通の認識を持ち支援および指導をしていく。将来、一般就労を希望している者については就労が出来るような社会性や能力の向上を目指した支援を行っていく。ISOの取り組みをしているという自覚を各々が持ち、衛生レベル（特に手洗いや衛生的な行動に関して）の向上に努める。

現在、よさこい工房にて作業に従事している2名は、よさこい工房での作業能力の向上を目指し、支援していく。

### 2、利用者活動

- ・衛生レベルの向上を目指し、より安全な食品の提供を心掛ける。コロナウイルス対策として行ってきた玄関での検温、消毒は継続して行い、各メンバーが自身の体調を管理できるようにしつつ、支援員もメンバーの体調管理を意識して行う。
- ・包丁やピーラー、スライサーなどの刃物を使用する為、危険な道具を使っているという自覚を促す。包丁が使えるメンバーが少ない為、支援員と一緒に作業を行う中で、少しずつ包丁の扱いに慣れてい

けるよう支援を行う。

- ・自己評価をしてもらいながら、スキルアップを目指す。得意な作業はさらに上のレベルを目指し、苦手な作業も少しずつ出来る様に支援を行う。各メンバーの出来る作業に偏りが無いよう、幅広く作業に参加できるように支援を行っていく。
- ・祝祭日など他の部署とは違う作業日もあるが、作業に取り組む中で就労への意識を高くする。また、希望するメンバーに関しては一般企業への見学や実習などの就労へ向けた支援も検討していく。
- ・休憩の過ごし方や余暇の時間、季節を感じられるような行事も取り入れていく。

### 3、作業内容

主な取引先：サニーマート惣菜工場

北川村ゆず王国

やまくに・岡林農園・御菓子司小笠原・高知県特産品販売

よさこい工房受注分の下処理

①野菜下処理：取引先の用途に合わせて量や作業方法が変化する。

また、時期によって依頼される作業が変わってくることもあるため臨機応変な対応が求められる。

② 袋詰め：冷凍品の袋詰め、粉の計量が主となるが、液体ソースなどの計量も依頼されることがある。数字が苦手なメンバーもいるため、得意なメンバーを育成しつつ、ほかのメンバーも作業が行えるよう支援していく。

各取引先からのニーズに応えつつ、メンバーが主体となって作業が出来る環境づくりを進めていく。

### 4、課題

- ・サニーマート作業の売り上げが年々減少傾向にあるため、北川村ゆず王国の作業に力を入れ作業量、売り上げの増加を目指す。  
現在の売り上げ比率は、サニーマート65：ゆず王国35
- ・コロナウイルス対策を継続して行い、メンバー、支援員の健康管理に気をつける。
- ・よさこい工房と連携を取り、自社製造品の下処理などを行う環境を作る。
- ・新規取引先の開拓により売り上げ増加につなげていきたいが、文旦作業等、既存の取引先と競合する作業の依頼が多く、季節も偏りが見られる。スポット作業が少ない春、夏の作業の増加につなげていきたい。

# あおぞらファクトリー あみおり工房

就労B ライフ・ステージ 蒼空舎  
生活介護 あおぞらセンター

サービス管理責任者：清藤 美和

## 1、人員について

### ① メンバーへの支援

メンバー	センター	8名	蒼空舎	12名	計	20名
支援員	センター	2名	蒼空舎	3名	計	5名

### ② 実習生等の受け入れ

障がい者の福祉的就労の場を提供すると共に、特別支援学校や相談機関等からの実習生の受入れも行い、就労体験の場としていき、新規利用者の受入れも積極的に行っていく。

### ③ 支援員のスキルアップ

メンバーへの支援については、支援員一人ひとりが障がい特性を理解し、共通認識のもとメンバーが安定して過ごせるように支援を行う。その為に、ケース会、研修等を必要に応じて計画をする。作業面においては、県内の手袋事業者との連携を継続し、技術の向上に努める。編機の運転については、主に2名の支援員で対応をする。

## 2、利用者活動

メンバーの作業は、大きく自主製品グループと下請けグループの2つに分かれる。下請けについては、作業の量も種類も増える中で、注文数に対応をしていく為に、計画的に作業を行い、メンバーも複数工程が担えるように支援をしていく。また、実習等を通して、新規メンバーの受入れも行っていく。

感染対策として、アクリル板の設置、作業中のマスクの着用、手洗い、消毒の徹底を継続する。また、定期的に換気を行い、座席も出来る限り、密にならないように配慮する。

## 3、自主製品

### ① 仕入れ・製造・販売

仕入価格は年々高騰しており、厳しい状況が今後も継続すると思われる。仕入先の開拓についても情報収集を行い確保していく。

製造する手袋の種類も増え、資材も多くなり、手狭になってきているが、蒼空舎南側に設置した倉庫等を活用し、資材管理を行っていく。

製造については、13台の手袋編み機で稼働をする。(7G 編機 8 台・7GS 編機 1 台・指出し編機 1 台・10G 編機 3 台) 編み機の運転については、作業日のみとし、必要に応じて、夜間運転を実施していく。

販売については、新型コロナウイルスの影響で、伸び悩んだ売上を回復していけるように、取引先への訪問を実施し、情報収集を行い対応していく。また、新規市場の開拓については、顧客のニーズに応じたオーダーにも積極的に対応をすることで、新規取引先の確保を目指す。

<主な設置機械とメンテナンス業者>

○手袋編機 13 台 (7G 10 台・10G 3 台)	[島精機・カワムラ手袋]
○オーバーロックミシン 6 台 (あ 4 台・蒼 2 台)	[岡林ミシン]
○ネーム付ミシン 1 台 (蒼)	[大勝製造所]
○すくい縫いミシン 3 台 (あ 1 台・蒼 2 台)	[大勝製造所]
○結束機 (あ 1 台・蒼 2 台)	○10 ダース結束機 (あ蒼 各 1 台) [島精機]

## ② 商品在庫

コロナウイルス感染対策に伴う休業等もあり、在庫確保が課題となっている。1ヶ月先の発注分を確保していくことを目標とする。センター、蒼空舎双方の在庫確認を行い、品切れしない体制を整えていく。

## 4、留意

取引先への緊急時（クレーム等）の対応については、現場責任者の指示のもと、迅速な対応を基本とし、随時、管理者への報告を行う。

作業場があおぞらセンターと蒼空舎で分かれている為、日々の連絡、調整を大切にする。

## あおぞらカンパニー

就労B ライフ・ステージ 蒼 空 舎

サービス管理責任者：黒沢 圭子

### グループ就労

シーサイドホーム桂浜・つむぐ ……………メンテナンス業務

### 1、人員について

メンバー5人 支援員1名

それぞれ個々の目標に向けて取り組み、質の向上をめざす。必要に応じて話し合いを持ち、就労に対する意識、業務に対する意識、メンタル面を高める支援を取り入れていく。

人員体制については、支援員、メンバー共に、欠勤時等の対応等がスムーズにできるよう体制を整えていく。

## 2、利用者活動

- ・作業量が増える中で、はき残し、拭き残しをなくし、精度をあげていけるように支援をする。
- ・作業だけでなく、挨拶や周りへの気配りができるように支援していく。
- ・メンバーとの話し合いの場を持ち、仕事に対するメンタル面や意欲面の向上につとめる。
- ・感染対策として、入室前の検温、マスクの着用、手洗い消毒等を徹底すると共に、委託先の指示に従い対応を行う。
- ・就労先で感染症が確認された場合には、2週間の休業をお願いし、自宅待機とする。

## 3、移行活動

### ① グループ就労支援

シーサイドホーム・・・毎週水・日曜日 1月1日2日 公休日

つむぐ 勤務時間は、9:00～16:30

作業道具等はシーサイドホームが負担する。

### ② 単独就労支援

ハローワークへの本人訪問、研修、面接、実習等の機会を設定し、就労への移行を支援する。

### ③ 他機関との連携

ケースに応じて、障害者職業センターの職業訓練等を活用し、就労へ向けての支援を行う。また、合同面接会（9月）への参加も検討する。

### ④ 一般就労との併用利用について

平成28年5月に病院の清掃業務で一般就労をした2名については、週4日勤務の為、週1日は、B型利用を継続していく。今後も、一般就労先との連携を図りながら、B型利用と併用していきけるように継続して支援を行う。

## 4、留意

- ・祝日等の業務もある為、緊急時の連絡先は、あおぞらセンターとする。
- ・各々の業務について、担当者を配置し、委託先との連絡、調整を行う。
- ・担当者は、定期的な巡回を行い、メンバーへの支援、業務水準の維持に努める。

## ライフ・ステージ 第2 あおぞら

(リサイクルショップ、あおぞらショップ、バザー、メール便)

就労B 第2 あおぞら

サービス管理責任者：下元 真人

### 1、人員(事業所全体)について

- ・メンバー21名に対して、常勤職員4名(サビ管含む)、調理員1名の体制とする。

### 2、利用者活動

- ・メンバー個々の希望や適性により、いずれかの作業を担当してもらう。
- ・課題と目標を明確にして、日々の活動に取り組む。
- ・出勤時等の検温、手洗い、消毒を徹底し、感染対策に努める。
- ・休日の過ごし方等についても可能な限り把握し、感染対策を支援する。

### 3、授産内容

#### ① **リサイクル販売 令和4年度売り上げ目標 3,000,000円**

令和3年度見込み額 3,000,000円

- ・前年度に引き続き、感染対策を徹底して店舗運営、回収作業に取り組む。
- ・感染状況が落ち着き次第、新規回収先の開拓に取り組む。  
(コロナ禍により、今まで作り上げてきた回収ルートがほぼ壊滅状態になっている)
- ・感染状況が落ち着き次第、広範囲にチラシを配布し、車での来店客も増やしてゆく。  
(駐車場の整備により可能となった)
- ・家具、家電、食器等、処分に困る品物の引き取りは基本的にお断りする。
- ・売り上げ目標は、コロナ禍を前提とした数字で、収束すれば目標額をアップする。

#### ② **食品販売 令和4年度売り上げ目標 300,000円**

令和3年度見込み額 165,000円

- ・令和3年度は文旦が不作で、全く取り組みができなかった。  
(新高梨も不作で、品切れとなり、途中で打ち切りとなった)
- ・学校・行政機関等への外販を中心に取り組む。
- ・コロナ禍が収束するまでは、電話、ファックス、郵便等で対応する。
- ・商品ロスのないように不要な在庫は持たない。

#### ③ **ダンボール、金属等の回収 令和4年度売り上げ目標 200,000円**

令和3年度見込み額 190,000円

- ・金属の価格が高値安定。スチール机、ロッカー等の回収に積極的に取り組む。

#### ④ **フリーマーケット(出店料) 令和4年度売り上げ目標 150,000円**

令和3年度見込み額 107,000円

- ・まん延防止重点措置等が適用された場合は、直ちに開催を中止とする。
- ・コロナ禍であっても、感染状況が落ち着いていれば、感染対策を徹底して開催する。
- ・コロナ禍収束後は、月一回を目標として開催する。

⑤ **クロネコDM便** **令和4年度売り上げ目標 180,000円**  
令和3年度見込み額 170,000円

- ・感染対策を徹底して取り組む。

⑥ **自販機収入** **令和4年度売り上げ目標 50,000円**  
令和3年度見込み額 50,000円

- ・自販機周囲の清掃、空き缶、ペットボトルの処理を小まめに実施する。

⑦ **清掃作業** **令和4年度売り上げ目標 1,915,000円**  
令和3年度見込み額 1,813,000円

**内訳**

**アイフル店舗（三箇所・週二回）** **売り上げ目標 145,000円**  
令和3年度見込み額 145,000円

- ・使い捨て手袋の使用等、感染対策を徹底する。

**芸術学園（週一回・一時間程度）** **売り上げ目標 80,000円**  
令和3年度見込み額 80,000円

- ・コロナ禍により、毎週の取り組みが隔週になっている。
- ・感染拡大による休校も予想される。
- ・無人校舎なので、感染リスクは低い。

**ケアハウス土佐（週五日・半日）** **売り上げ目標 960,000円**  
令和3年度見込み額 953,000円

- ・ケアハウス施設内の利用者、職員との接点は少ないが、コロナ陽性者が出た場合は、直ちに作業を中止とする。

**潮江小学校のプール、廊下、トイレ清掃** **売り上げ目標 95,000円**

- ・平成4年度は試験的に小学校の校舎一部とプール清掃を請け負う予定。
- ・プール清掃は 六月に一回(一日)作業。
- ・廊下、トイレ清掃は 4月に五日、10月に一日、2月に一日、合計7日間(半日)

**ゴミ、不燃物の片付け草引き等の請負** **売り上げ目標 635,000円**  
令和3年度見込み額 635,000円

- ・感染状況によっては、積極的に取り組めない。

**令和4年度総売り上げ目標 5,795,000円**

令和3年度見込み額 5,495,000円

※ コロナ禍が続く、販売部門が大きな打撃を受けている。令和4年度も同じ状況が続くようであれば、現状維持も難しいと思われる。感染状況が落ち着き次第、販売部門の立て直しが必要である。



# 工賃について

こうち福祉会

工賃については、各事業の授産収入から必要経費を差し引いたものを、各事業に従事したメンバーに配分をする。また、基本給については、工賃評価基準表に基づき10段階評価し、皆勤賞をとりいれ、支給している。評価については1年に1回行うものとする。但し、必要がある場合は、随時、評価の見直しを行う。

こうち福祉会

工賃支給規定

ライフ・ステージ あおぞらセンター  
蒼空舎  
第2あおぞら

(目的)

第1条 この規定は、利用者に対して授産収入を工賃として配分するための基準を定めるものです。

(定義)

第2条 工賃とは、授産収入から授産事業に必要な所定の経費を差し引いたもので、給料として支給することにより、労働意欲を高め、生活に潤いを与え、地域生活への移行助長を図るものです。

(工賃の種類)

第3条 工賃の種類は、職能給、諸手当及び賞与とします。

- 1 職能給は評価基準表により算出されたものとします。
- 2 諸手当は、皆勤手当とします。
- 3 賞与は授産収入の状況に応じて支給します。

(支給額)

第4条 工賃は日給制で、支給額は、次により算出した額とします。

- 1 職能給 評価基準表により利用者の作業態度及び作業能力を評価した点数により設定し、設定された単価に出勤日数をかけたもので算出をします。
- 2 皆勤手当 月毎に支給をします。
- 3 ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウィルスの欠勤支給  
発症日より2週間内の作業日については日給を支給する。皆勤手当は欠給とする。尚、給食は3日間を徴収する。

(支給日)

第5条 毎月の工賃の支給は、月末を締め日とし、翌月5日を支給日とする。賞与は、7月と12月

に支給する。但し、支給日が休日にあたる場合は、翌日を支給日とします。

(勤務)

第6条 1日の勤務時間は、各作業毎に設定。半日以内の遅刻、早退については、2分の1出勤とします。また、半日を超える遅刻・早退については欠勤とします。

(作業評価)

第7条 作業評価は、別表の工賃評価基準により評価するものとし、年度末(3月)に評価会議を開催して評価を行います。但し、特に必要がある場合は随時評価の見直しを行うものとし、

新規利用者の作業評価は、利用開始から3か月後に行うこととします。

(評価会議)

第8条 評価会議は、工賃評価基準をもとに審議するものとし、施設長、管理者、サービス管理責任者、作業及び生活支援者等により構成します。

(諸帳簿)

第9条 工賃の支給状況を常に明確にするため、次の簿冊を備えるものとし、

- 1 工賃集計表
- 2 作業日誌
- 3 作業評価表

(特別休暇)

第10条 利用者に次の各号のいずれかに該当する事情が生じた場合または願い出により、所定の日数の特別休暇が与えられます。また、特別休暇は有給とし、その間に休日があるときはこれを控除する。

- |                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| 1 本人が結婚するとき                       | 5日以内 |
| 2 子が結婚するとき                        | 3日以内 |
| 3 配偶者が出産するとき                      | 3日以内 |
| 4 配偶者、父母、子が死亡したとき                 | 3日以内 |
| 5 兄弟姉妹、配偶者の父母が死亡したとき              | 3日以内 |
| 6 祖父母、叔父叔母が死亡したときは無給とするが、皆勤の対象とする | 3日以内 |
| 7 これにかかわる欠食については請求の対象としない         |      |

(その他)

第11条 この規定に定めていない細部の事項については自治会及び職員会で協議の上で対処する。

附則

この規定は、平成21年4月 1日から施行する。

この規定は、平成22年4月 1日から一部改定して施行する。

この規定は、平成24年1月 1日から一部改定して施行する。

この規定は、平成26年7月 1日から一部改定して施行する。

この規定は、令和 3年7月30日から一部改訂して施行する。

## クッション

ライフ・ステージ あおぞらセンター

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。  
各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。  
給食費保障による実支給を行う。

\*合計人数 11人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	15400	12540	10560	7700	5500
基本日給(円)	700	570	480	350	250
該当者	1人		1人	2人	4人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	4400	3740	2640	2420	2200
基本日給(円)	200	170	120	110	100
該当者	2人	1人			

## 箱折り

ライフ・ステージ あおぞらセンター

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。  
各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。  
給食費保障による実支給を行う。

\*合計人数 2人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	15400	12540	10560	7700	5500
基本日給(円)	700	570	480	350	250
該当者			1人		1人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	4400	3740	2640	2420	2200
基本日給(円)	200	170	120	110	100
該当者					

## 野菜加工

ライフ・ステージ あおぞらセンター  
蒼 空 舎  
(あおぞらファクトリー)

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている

\*合計人数 14人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	55,000	46,200	37,400	28,600	23,100
基本日給(円)	2,500	2,100	1,700	1,300	1,050
該当者	0人	0人	0人	1人	5人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	19,800	17,600	15,400	13,200	11,000
基本日給(円)	900	800	700	600	500
該当者	3人	2人	2人	0人	0人

内1名はよさこい工房で、工賃に関しては時給計算としている。(時給500円)

## てぶくろ

ライフ・ステージ あおぞらセンター  
蒼 空 舎

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。

給食費保障による実支給を行う。

\*合計人数 12人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	28,600	24,200	19,800	15,400	13,200
基本日給(円)	1,300	1,100	900	700	600
該当者	1人		4人	3人	3人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	11,000	8,800	6,600	5,500	4,400
基本日給(円)	500	400	300	250	200
該当者	1人				

## 畑ばたけ

ライフ・ステージ **あおぞらセンター**  
蒼 空 舎

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。

給食費保障による実支給を行う。

\*合計人数 10人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	56,000	41,800	33,000	24,200	19,800
基本日給(円)	2,300	1,900	1,500	1,100	900
該当者			1人	3人	6人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	15400	11000	8800	6600	4400
基本日給(円)	700	500	400	300	200
該当者					

## G就労

ライフ・ステージ 蒼 空 舎

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。

※一般就労併用の2名を含む。

\*合計人数 7人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	35,200	33,000	30,800	28,600	26,400
基本日給(円)	1,600	1,500	1,400	1,300	1,200
該当者				2人	3人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	24,200	22,000	19,800	17,600	15,400
基本日給(円)	1,100	1,000	900	800	700
該当者	2人				

## あおぞらショップ

### ライフ・ステージ 第2あおぞら

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分（見込み）は下記の通りになっている

\*合計人数 21人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給（円）	33000	29700	26400	24200	22000
基本日給（円）	1500	1350	1200	1100	1000
該当者					3人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給（円）	19800	17600	15400	13200	1100
基本日給（円）	900	800	700	600	500
該当者	3人	6人	9人		

## 令和3年度 工賃実績・令和4年度 工賃目標

### 蒼空舎：就労継続支援B型

事業	員数	工賃実績 (令和3年度)	工賃目標 (令和4年度)
畑	11人	23,618円	27,000円
手袋	12人	17,687円	18,000円
野菜工房	14人	28,840円	34,000円
清掃	5人	29,909円	30,000円
一般就労併用者	2人	3,591円	3,600円
平均		23,589円	26,000円

### 第2あおぞら：就労継続支援B型

事業	員数	工賃実績 (令和3年度)	工賃目標 (令和4年度)
第2あおぞら	21人	22,780	23,000
平均	21人	22,780	23,000

給与を労働時間数で割り、5時間労働、22日勤務で計算している。

(給与÷労働時間数×5時間×22日+皆勤手当1000円)

※ コロナ禍の早期収束がない限り、工賃は現状維持が精一杯と思われる。

# 給食弁当

ライフ・ステージ 蒼空舎  
あおぞらセンター  
第2あおぞら

調理員：久米ゆかり

## 1、年間計画

蒼空舎厨房では、毎日120食前後のお弁当を3人で調理し、各施設へ配達しています。

給食部年間計画としては、4月に栄養所要量の算定を予定し、年1回嗜好調査を実施します。毎月調理従事者は腸内細菌検査を実施します。(代替で入ってくれる人にも実施します。)

嗜好調査に関しては、全てを受け入れる訳にはいきませんが、嫌いなものは少量からはじめ偏食がなくなるよう支援します。アレルギーに関しては、確実に除去食での対応を実施します。(アレルギー10名)

これから増えつつある利用者さんに対応していくための献立や配膳方法、調理方法は随時話し合いをして無理なく工夫していきます。

## 2、地産地消

畑班と話し合いながら、自家農園(蒼空舎畑)で取れた新鮮野菜や、四季折々の旬の食材をできるだけ献立に多く取り入れるようにしています。又、他の食品についても、国産にこだわり今後も安全な作物を多く使っていきます。あおぞらの加工品も多く取り入れ食材費の節約に努めるようにします。

## 3、衛生について

「HACCPに沿った衛生管理」の制度化に伴い、衛生管理の実施状況の記録、保存等を行い食中毒の予防に努めていきます。食品の納入時には、表面温度もチェックし、食品の加熱加工冷却温度を計り、記録していきます。床や器具、テーブルは毎日清掃やアルコール、熱湯消毒をし安全衛生には十分気を付けて作業を行っています。又、個人の衛生点検表を記入し、常に意識を持って仕事にあたります。食堂はコロナ対策としてアクリル板を設置しアルコール消毒し感染予防に努めていきます。

## 4、環境、防災への取り組み

揚げものの油に使用した廃油は、外部委託によって、飼料や洗剤の原材料にリサイクルします。生ゴミは、畑の肥料にして、減らすように努めています。災害時等における備蓄品(米10袋)を備えるようにする。

### 給食に関する基本情報

「バランスの取れた食事と安心の食材」

- ・利用者さんの身体状態を把握、毎日の献立が年齢別、性別、労作に見合った内容となるよう工夫努力

をし、できるだけ望ましい食事の提供に努める。

- ・「地産地消」特に自家農園(蒼空舎 畑)で収穫した、新鮮野菜を利用すると共に他の食品に関しても食の安全確認確保に努め食材費も節約する。
  - ・季節のものを多く取り入れ、彩りはもちろんのこと栄養面についても考える。メニューも飽きが来ないように少量多種を目標に献立を考え、できる範囲で行事食もとり入れ美味しく安全な弁当作りをする。又、節季には季節感を大事にした特別弁当を用意します。
- コロナ緊急時には、緊急対策弁当で居住事業所と連携対応します。
- ・誤嚥事故防止対策に関して、引き続き食材の調理方法を工夫する。
  - ・献立を各家庭、グループホームに配布し、1日3食バランスの取れた食事の参考にしてもらう。

## グループホーム<共同生活援助・包括型>

ライフ・タウン あおぞらホーム

ライフ・タウン 蒼空舎

サービス管理責任者：杉本 郁

### 令和4年度事業の概要

#### 1. 事業目的

共同生活援助（包括型）事業の円滑な運営管理を図るとともに、共同生活住居において、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な障害福祉サービスを提供することを目的とする。

#### 2. ライフ・タウン23ホーム配置

—— ライフ・タウンあおぞら ——

① あおぞら第一	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H11年10月	(定員5名)
② あおぞら第二	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H11年10月	(定員4名)
③ あおぞら第三	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H12年10月	(定員4名)
④ さわやか	高知市朝倉甲	法人住宅	H13年10月	(定員5名)
⑤ ふれあい	高知市神田	県営住宅	H14年10月	(定員4名)
⑥ 若いづみ	高知市朝倉丙	マンション	H18年 4月	(定員4名)
⑦ ひまわり	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H20年10月	(定員3名)
⑧ つくし	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H21年 4月	(定員6名)
⑨ ふきのとう	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H21年 4月	(定員4名)
⑩ たんぽぽ	高知市朝倉丙	マンション	H21年 4月	(定員3名)
⑪ 野の花	高知市神田	リードハウ	H21年10月	(定員5名)
⑫ ほの風	高知市神田	リードハウス	H22年 3月	(定員4名)
⑬ みづき	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H23年 1月	(定員6名)



⑭ 野うさぎ	高知市朝倉甲	法人住宅	H23年 7月	(定員5名)
⑮ よさこい	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H23年11月	(定員5名)
⑯ ひだまり	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H23年11月	(定員4名)
⑰ なごみ	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H25年 3月	(定員4名)
⑱ ひづき	高知市鴨部	ウエストタウンモリタ	H25年 3月	(定員6名)
⑲ ときわ	高知市鴨部	シティ次郎丸	H25年 3月	(定員4名)
⑳ ひより	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H26年 3月	(定員4名)
㉑ まほら	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H26年 3月	(定員4名)
㉒ あかり	高知市朝倉甲	グレートハイ	H27年 3月	(定員4名)
㉓ のどか	高知市朝倉甲	グレートハツ	H27年 3月	(定員4名)

—— ライフ・タウン蒼空舎 ——

① オリーブの家	高知市春野町平和	法人住宅	H29年11月	(定員4名)
② オリーブの丘	高知市春野町平和	法人住宅	R 2年 1月	(定員5名)

定員108名

### 3. 支援者の体制

管理者1名、サービス管理責任者5名、25ホームに専任の共同生活支援員23名、代替兼任の家庭支援員11名、夜間巡回支援員27名、日常生活支援員専任7名 看護師1名 他

### 4. 節季・生活の彩り

コロナ過において行事は自粛。感染状況が全国的に終息を迎える状況において再開したい。令和4年度は全体の行事は控えつつ、少人数での外食、屋外活動など実施に取り組む。

### 5. 見学・体験入居・ショートステイ

特別支援学校等の校外学習・PTA等の見学の受け入れグループホームの空室を活用した体験利用などを実施し、安心して地域生活が継続できるよう支援する。

### 6. 夜間支援・防災警備

夜間体制については支援対象者数4人に夜間支援員1人を配置し、夜間の見回りを行うと共に事業所に宿直者2名を置く。

警備会社のオンラインセキュリティサービスを採用し24時間の防災監視について委託。異常を感知した際は、警備会社コントロールセンターに自動通報され、警備会社の緊急対処員が最寄りの発進基地より現場急行し必要な処置を行うとともに、施設管理者及び宿直者へも連絡されるシステムとする。

### 7. 防災計画・訓練

年3回(うち1回は地震訓練)の防災訓練を実施し、日頃から避難路・避難場所の確認など防災意識を持って頂き利用者が速やかに避難できるように取り組んでいく。併せて防災設備が、有事に際し

有効に機能するように日常の保守点検を行う。

1 週間分の災害食・水の確保。賞味期限を把握し朝夕利用し新たな災害食を確保していく。

BCP（事業継続計画）作成

## 8. 職員資質の向上と人材の育成

ズームを活用したオンライン研修を中心に、福祉に従事する職員に求められる基本姿勢、専門的知識、意識改革等職員の資質向上と組織が必要とする人材が効果的に育成できる  
研究会に参加する。

- ・初任職員研修
- ・障害者虐待防止研修
- ・感染症予防研修
- ・強度行動障害支援者研修

他

## 9. 家賃補助

特別支援学校等卒業後の無年金者や、就労移行を目指しているが、すぐには収入が得られない方などに法人独自の家賃補助を行う。

## 10. 重点課題 「コロナウイルス感染予防」

全国の新規感染者はオミクロン株への置き換わり急増している。今後も増加速度は鈍化しながらも感染拡大が継続すると考えられる。消毒の徹底や三つの蜜（密閉・密集・密接）を避け、コロナウイルスを持ち込まない生活様式を確立する。

感染者や同居家族の自宅待機期間が短縮されてきていますが、こうち福祉会ではこれまでどおり 2 週間健康観察を行い門前でシャットアウトしていく。健康観察期間中は使い捨ての容器を使いお弁当を届ける。

### ワクチン接種について

希望される利用者・支援者には医療機関を調整し速やかに 3 回目以降のワクチン接種ができるようにする。

## 11. 障害分野における ICT の導入

- ・サービス提供実績記録・週間報告書その他煩雑な事務処理及び本部への連絡・報告に ICT を導入、簡素化・一元化することで、情報を瞬時に共有でき、余剰時間で利用者支援により多く従事する。
- ・法人内の日中活動先とのより緊密な連携が取れる事により、連絡・報告の抜かりや認識のズレや謝りを減少させる。
- ・2W に一度の GH 会に於いて、90 分を要し各ホームの報告会となっている。予め情報を共有することにより、これらは割愛して、議題を重要なケースに絞って協議・研鑽する機会を増やす。
- ・タブレット利用によりペーパーレスを目指す。

# 相談支援事業

ライフ・サポート あおぞら

指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

指定一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)

相談支援専門員：土門 義和

## 1、人員について

- ・相談支援専門員 常勤専従 3名
- ・上記の者については、適宜必要な研修や会議に参加し、当事業所の相談支援の底上げを図る。
- ・事業の進捗に伴い、必修研修に参加してもらい相談支援専門員として体制を整えていく。
- ・対象者については、主たる障害を特定せず3障害の成人の相談支援とする。

## 2、業務内容

(指定特定・障害時相談支援事業)

・当法人事業所利用者と相談支援との利用契約の下、当法人及び他法人利用者のサービス利用計画書の作成とモニタリング及び行政等への申請手続きを行う。作成にあたっては、利用者宅や各事業所等への訪問による面接を行い、現状とバックグラウンド等考慮しながら将来的な展望も検討し適切なアセスメントを行い、必要な福祉サービスや社会資源に繋ぎ、また行政や他支援機関等とも連携し、必要な情報提供等も行っていく。

・令和2年4月よりいの町からの委託計画相談を開始となっており、基本的な計画相談に加え委託業務の効率化も図っていく

・毎月1回の内部勉強会を継続し、相談支援としての基本的な抑えをしながら、様々な事に目を向け、困難事例等の検討も行い反復繰り返し幅広く知識を深めていけるよう努めていく

・ICTモデル事業としての機材等の活用方法を模索、実行し日々の業務等に関する効率化も図れるよう取り組んでいく

(指定一般相談支援事業)

当法人事業所利用希望の者と相談支援との利用契約の下、利用者宅や入所施設・精神科病院への訪問による利用者に対する相談及び援助、医師からの助言や本人や家族の意向を踏まえての地域移行支援計画・地域定着支援台帳の作成とモニタリング、また退院・退所後の準備や、それに際しての障害福祉サービス事業の体験的な利用等に係る同行や必要な援助、一人暮らしに向けた体験的な宿泊にかかる支援、関係機関との連絡調整・連携及び行政手続等行っていく。

常時の連絡体制について、不在時は代表電話を留守番設定擦るとともに、担当利用者及び各支援事業所には相談支援専門員の携帯電話を伝え緊急事態への対処も含めた体制を整える。

## 3. 留意

業務日は月～金曜日の8：30～17：30と土曜は隔週で8：30～17：30とする。また、緊急対応や時間外でも相談が受けられるよう時間外については、相談支援専門員が携帯で対応する。

## 障害者支援活動

社会福祉法人こうち福祉会

- ・事業別支援会議を月 1 回以上、法人全体職員会を月 1 回開催し、情報の共有化、支援技術の向上を計ります。
- ・家庭との連携による支援体制の強化に勤めます
- ・利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき到達目標を設定しサービス担当者会議を経て個別支援計画を作成します。

## 利用者の地域生活活動

- ・自治会（基本的に毎月 1～2 回実施する。）
- ・中部地区施設交流会
- ・旅行（年 1 回、日帰り旅行又は一泊旅行を実施する。）
- ・もちつき大会
- ・プールや川遊び
- ・スピリットアート
- ・陶芸
- ・体操教室（あおぞら体操、いきいき 100 歳体操）
- ・障害者作品展
- ・カラオケ
- ・流しそうめん
- ・BBQ
- ・映画鑑賞
- ・花見
- ・スポーツ大会

※生活のメリハリをつけるためにも四季折々の行事は取り組みたいと考えていますが、コロナ禍においては流動的になります。

## 安全・衛生活動

- ・防災避難訓練  
年 3 回実施（消防署立会い・1 回、自主訓練・2 回）
- ・健康診断  
年 1 回実施
- ・給食、食事指導  
咀嚼、偏食の指導  
歯磨き指導
- ・自転車点検 月 1 回実施
- ・衛生指導 感染症の予防（手洗い、うがい等）  
施設内の消毒、検温

## 職員 構成

管理者	3名 (兼任)
事務長	1名
サービス管理責任者	9名 (あおぞら・1名、蒼空舎・2名 (兼任)、第2あおぞら・1名 (兼任)、 あおぞらホーム・4名、ライフ・タウン蒼空舎1名)
相談支援専門員	3名
支援員	20名 (あおぞら・6名、蒼空舎・11名、第2あおぞら・3名)
共同生活支援員	24名
日中生活支援員	12名
看護職員	1名
調理員	3名 (あおぞら・1名 (栄養士)、蒼空舎・1名 (栄養士)、第2あおぞら・1名)
計	76名 (72名)

嘱託医	1名
委託看護師	1名
会計士	1名
講師 ((陶芸、ちぎり絵、体操)	3名
家庭生活支援員	12名
夜間支援員	27名